CLA
VIN
OVA

YAMAHA

Clavinova®

CVP-94/CVP-92

取 扱 説 明 書

楽 譜 付 き 入 門 編

GENERAL MIDI

XG

DISK ORCHESTRA

STYLE FILE

目 次

はじめに

この本の使い方

必ずお読みください

まず、取扱説明書「本編」の"安全上のご注意"をお読みいただいてから、この「楽譜付き入門編」にチャレンジしてください。

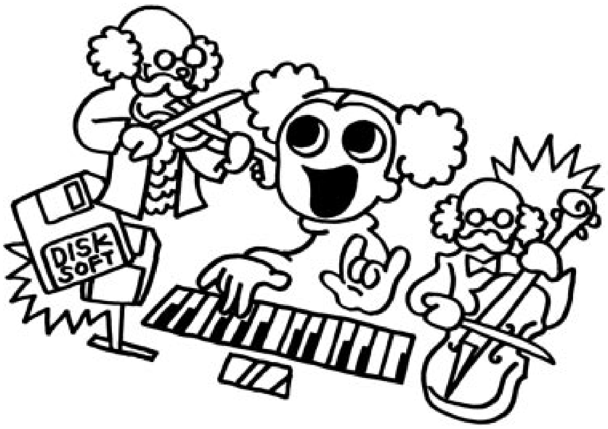
クラビノーバCVPの世界へようこそ！

クラビノーバCVP-94/92は…

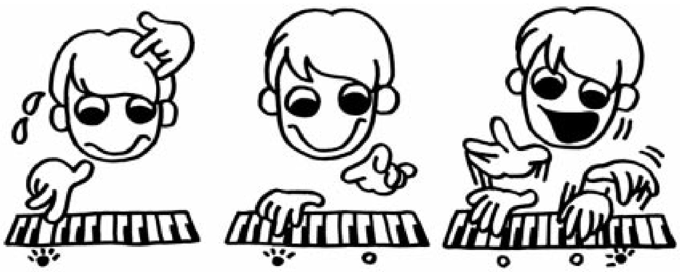
リアルで豊かな響きの音色(133クラビノーバ音色+480XG音色+12ドラムキット)
ピアノをはじめ、弦楽器、管楽器などの豊富な音色が楽しめます。
鍵盤でパーカッションも叩けます。



ディスクソフト再生機能
市販の豊富なディスクソフトを利用して、本格的なオーケストラやバンド伴奏をバックに弾いているような、楽しい演奏ができます。もちろん音楽鑑賞もできます。



初心者の練習を助けてくれるガイド機能
ディスクソフトを使うと、LCD画面とガイドランプが、弾くタイミングや鍵盤の位置を教えてくれます。3段階の練習方法で、ステップアップしながら1曲をマスターしていきます。



レパートリーが広がる自動伴奏機能

鍵盤でコードを指定するだけで、お好みの音楽スタイルで伴奏を自動演奏してくれます。１００種類の伴奏スタイルから選べます。そのほかに、ピアノソロの伴奏が楽しめる「ピアニスト」の伴奏スタイルが４０種類あります。



自分の演奏を簡単に録音できる録音機能

簡単録音、多重録音、自動伴奏のステップ録音（コードシーケンス）など、演奏経験や用途に合わせて録音方法が選べます。



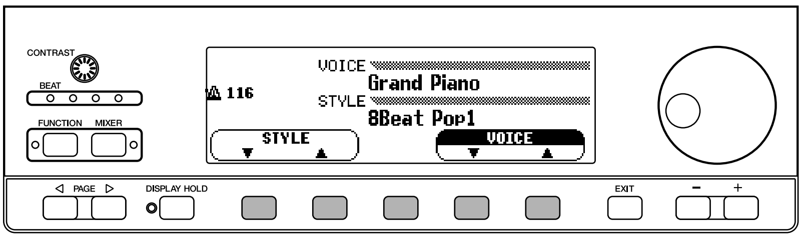
などなど、多彩な機能を持つ電子ピアノです。
だからといって、これらの機能をすべて覚えて一度に使うわけではありません。この本では、これらの機能をひととおり体験していただきます。そのあと、気に入った機能を活用して演奏をお楽しみください。各機能について詳しくは、取扱説明書「本編」をご覧ください。

この本に出てくる記号

【　　】：　パネル上にあるボタンの名称です。この場合、ボタン、スライダー、ジャック(端子)といった言葉は省略します。たとえば、マスターボリュームのスライダーは、文章中で【MASTER VOLUME(全体ボリューム)】と表記します。



[　　]：　LCD画面上に出てくるボタンや項目の名称です。
たとえば、LCD画面上に表示されている"VOICE"の部分は、[VOICE]と表記します。



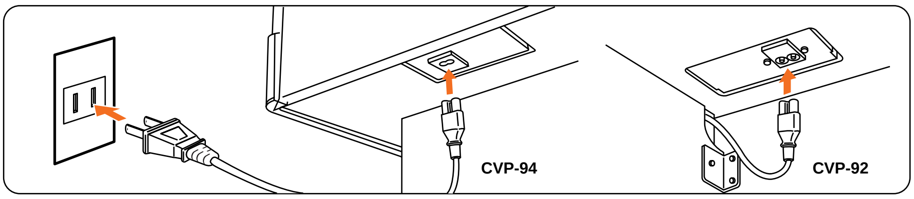
○○○ ➧ ※※※　　○○○の操作を行った結果、※※※の状態になることを示しています。

○○○⇒☆☆☆　　○○○の操作を行ったあと、☆☆☆の操作をすることを示しています。

準備

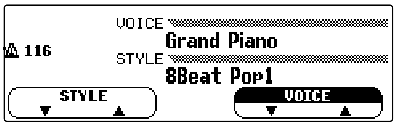
1. 電源コードを接続する

電源コードの両端のプラグを、本体とコンセント(家庭用AC100V）にそれぞれ差し込みます。



2. 【POWER】を押して電源を入れる

➧電源が入り、LCD画面に基本画面が現れます。また、本体前面左の電源ランプも点灯します。



3. LCD画面のコントラストを調節する

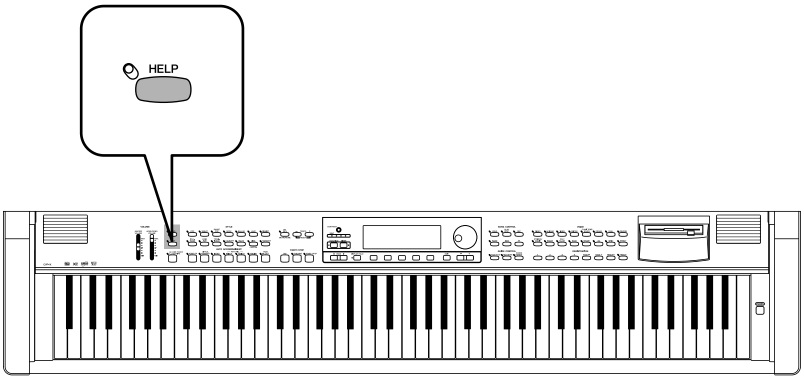
LCD画面左側の【CONTRAST(コントラスト)】のつまみを左右に回して、LCD画面の明るさを調節します。

4. 音量を調節する

パネル左側の【MASTER VOLUME(全体ボリューム)】を真ん中の位置にします。あとで実際に音を出してお好みの音量に調節してください。

第1章 ヘルプを見てみよう

詳しい説明は…取扱説明書「本編」P.19〜P.20



各機能の基本的な説明をいつでもヘルプモードで見ることができます。
LCD画面に説明が出るとともに、実際にその機能を使った演奏も同時に聞くことができます。

---

1. 【HELP(ヘルプ)(機能説明)】を押す

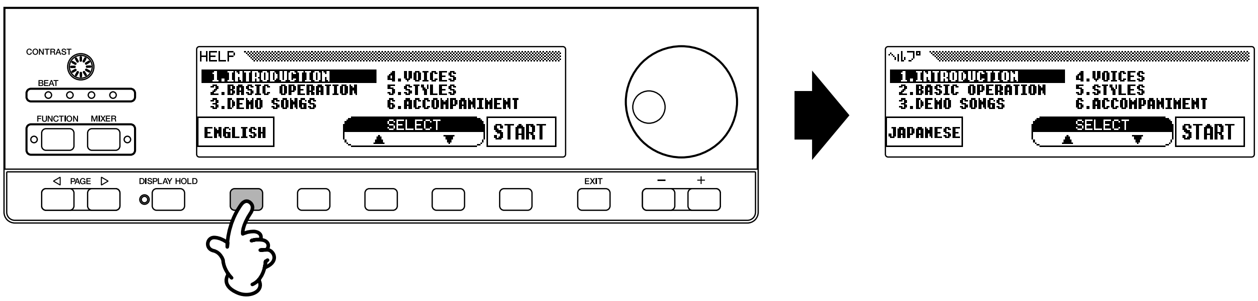
➧ヘルプ画面が現れます。



---

2. [ENGLISH(イングリッシュ)]を押して[JAPANESE(ジャパニーズ)]にする

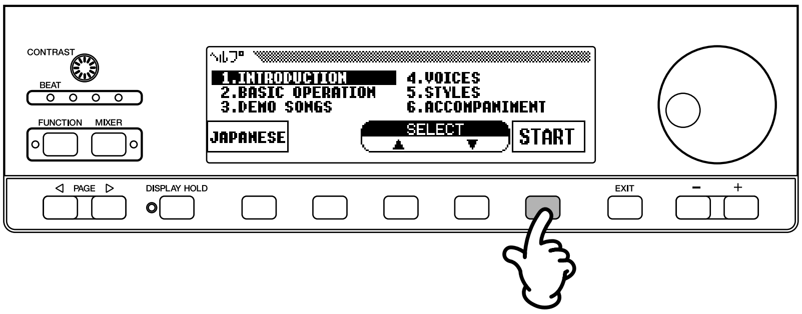
この設定をしておくと、音色名やスタイル名なども日本語で表示されます。



---

3. [START(スタート)]を押す

➧CVP-94/92の説明が始まります。最後までご覧ください。



[SELECT]▲▼を押して他のメニューを選んで説明を見ることもできます。

ワンポイント アドバイス

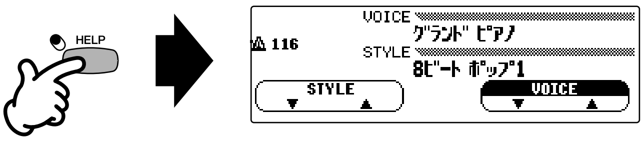
【MASTER VOLUME(マスター ボリューム)(全体ボリューム)】でボリュームを調節しましょう。

ワンポイント アドバイス

説明が始まるとLCD画面に[▮▮](ポーズ)や[◀◀](巻き戻し)が出ます。一時停止してから巻き戻して見ることができます。

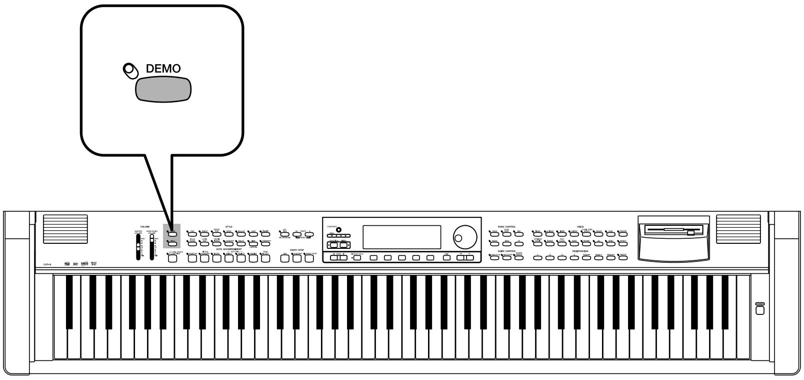
4. 【HELP(ヘルプ)(機能説明)】を押す

➧ヘルプモードを終了し基本画面に戻ります。



第2章 デモ曲を聞いてみよう

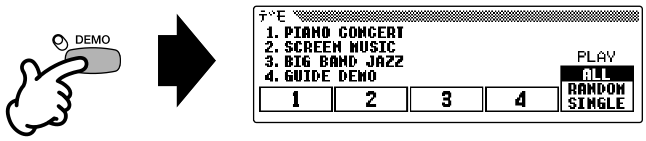
詳しい説明は…取扱説明書「本編」P.20～P.22



CVP-94/92には総合的なデモが4曲、音色紹介用に12曲、スタイル紹介用に11曲、計27曲のデモ演奏が入っています。 聞いてみましょう。

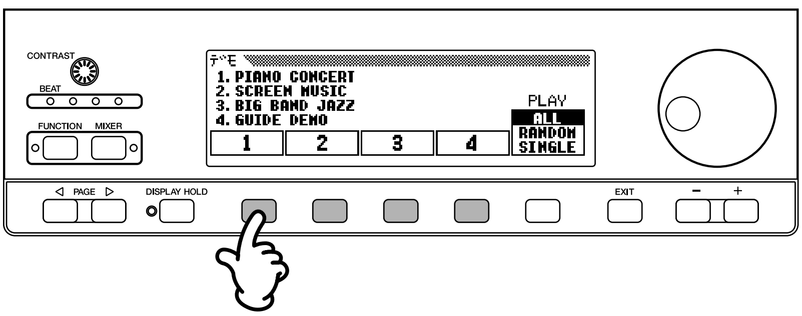
1. 【DEMO(デモ曲)】を押す

➧デモ画面が現れます。



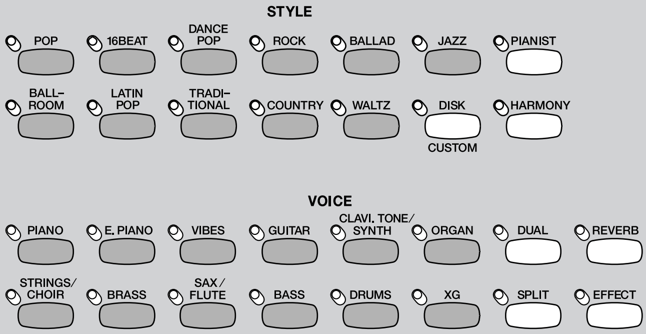
2. [1]～[4]のうち好きなボタンを押す

➧選んだ曲のデモ演奏が始まります。



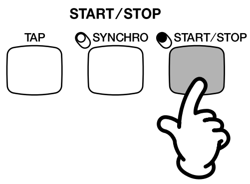
ワンポイントアドバイス

【POP(ポップ)】～【WALTZ(ワルツ)】の11個のスタイル(STYLE)ボタンや、【PIANO(ピアノ)】～【XG(エックスジー)】の12個のボイス(VOICE)ボタンを押しても、それぞれ選んだボタンのデモ曲を聞くことができます。



3. デモ演奏を聞き終わったら【START/STOP(スタート/ストップ)】を押す

➧演奏が止まります。



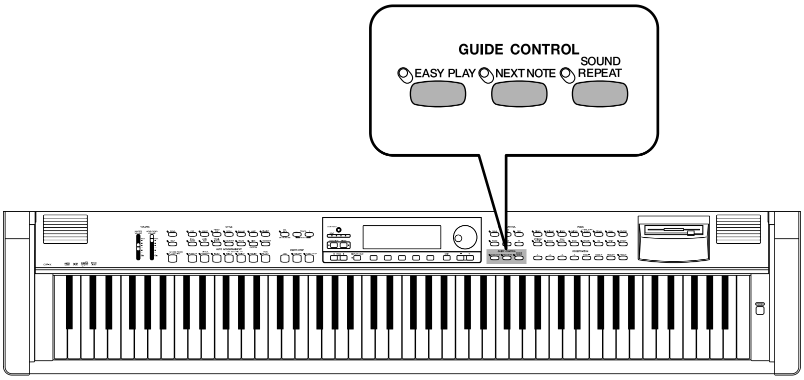
4. 【DEMO(デモ曲)】を押す

➧デモモードを終了し基本画面に戻ります。



第3章 ソフトを使って弾いてみよう

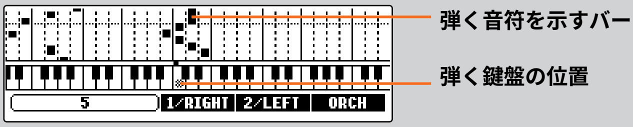
詳しい説明は…取扱説明書「本編」P.74～P.88



ここでは、ディスクソフトを使って演奏の練習ができる、ガイド機能の3段階ステップアップ練習を体験します。LCD画面に表示される"ピアノロール"と"鍵盤ガイドランプ"によって、鍵盤を弾くタイミングや音符の長さ、押さえる鍵盤位置を示してくれます。さらに、正しい鍵盤を押さえるまで伴奏が待っていてくれますので、マイペースで練習することができます。

ピアノロールとは…

LCD画面に現れる演奏練習用画面のことです。弾く鍵盤位置に向かって、弾く音符の長さと同じ長さのバーが画面の上から降りてきます。バーが画面の下まで達したときが、鍵盤を弾くタイミングです。バーの長さ分鍵盤を押さえていると、正しい音符の長さ分鍵盤を弾いたことになります。



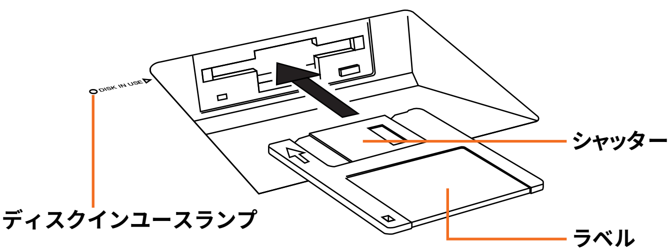
ディスクの取り扱い上の注意について取扱説明書「本編」の「フロッピーディスクの取り扱い」(P.9)をお読みください。

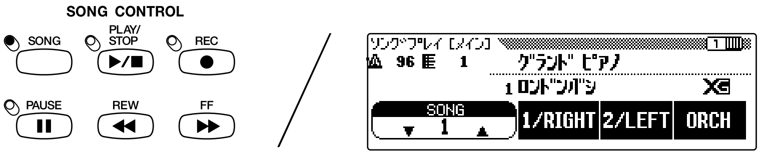
練習する曲を準備する

---

1. 付属の「ミュージックソフト・コレクション」のディスクをディスク挿入口に差し込む

図のように正しい向きと方向でカチッと音がするまでていねいに差し込みます。



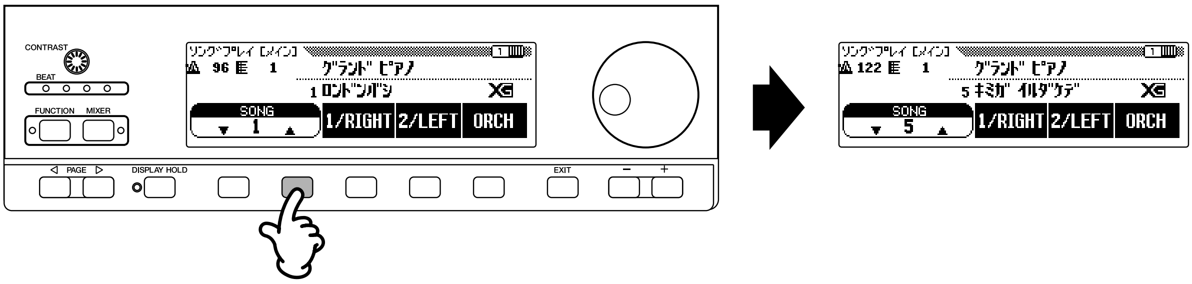


この画面が出ない場合は、PAGE(画面送り)【◀】を押して1ページめを出してください。

---

2. [SONG]▲を押して5にする

➧5曲目「キミガイルダケデ」が選ばれます。

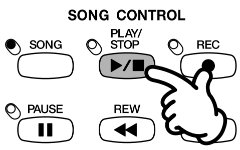


お手本演奏を聞く

---

1. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押す

➧お手本演奏の再生が始まります。

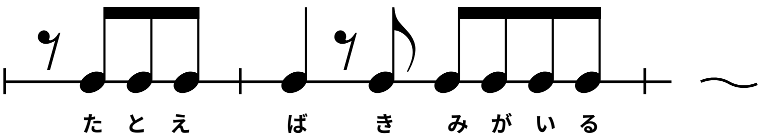


ワンポイントアドバイス

曲の再生が終わると自動的にストップします。再生の途中でストップしたいときは、【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押します。

ガイド機能を使った練習

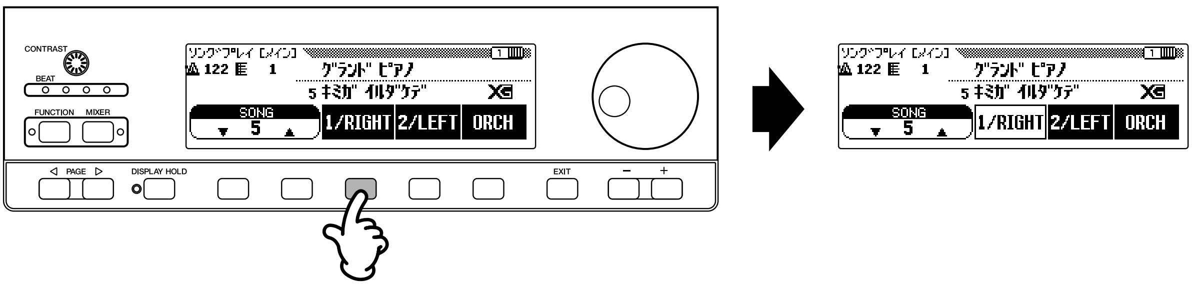
ステップ1.イージープレイで弾くタイミングを練習する



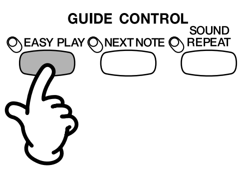
このように、伴奏に合わせてメロディのリズムだけを鍵盤を使って練習するような気持ちで弾きます。鍵盤はどこを弾いてもかまいません。メロディをうたいながら鍵盤を叩くとうまくいくでしょう。

1. [1/RIGHT(ライト)]を押す

➡右手パートの再生がキャンセルされます。

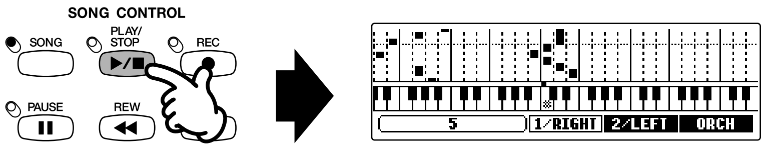


2. 【EASY PLAY(イージープレイ)】を押す



3. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押す

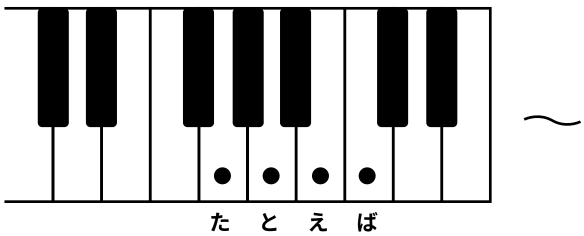
➧ピアノロール画面が出て曲の再生が始まります。練習しましょう。



ワンポイントアドバイス

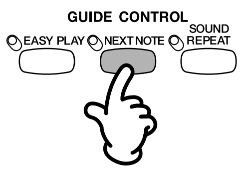
全体のボリュームは【MASTER VOLUME(全体ボリューム)】で、ディスク伴奏のボリュームは【ACMP/SONG VOLUME(自動伴奏/ソングボリューム)】で調節できます。

ステップ2.ネクストノートで弾く鍵盤位置を確認する



このように、ピアノロールや鍵盤ガイドランプを見ながら、弾く鍵盤の位置を確認する練習です。正しい鍵盤位置を弾くまで伴奏が待っていてくれます。鍵盤ガイドランプは、弾くタイミングが来ると、点灯から点滅に変わります。

1. 【NEXT NOTE(ネクストノート)】を押す



2. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押す

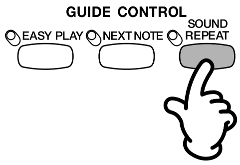
➧ピアノロール画面が出て曲の再生が始まります。メロディを練習しましょう。

ステップ3.サウンドリピートでお手本演奏を聞いて練習する

サウンドリピートを使うと、短いお手本演奏が再生されますので、それを聞いて強弱などをまねして練習します。お手本演奏は3回繰り返したあと、自動的に次のお手本演奏を始めます。

---

1. 【SOUND REPEAT(サウンドリピート)】を押す

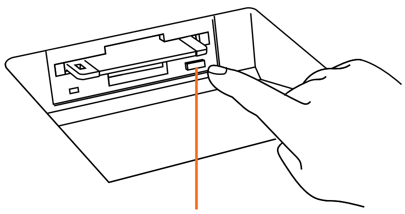


---

2. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押す

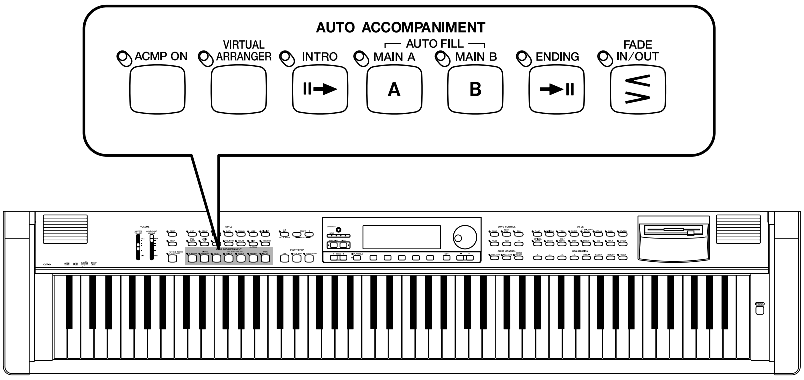
➧ピアノロール画面が出てお手本演奏の再生が始まります。メロディを練習しましょう。

ディスクを使い終わったら、必ずイジェクトボタンを押して、ディスクをディスクドライブから抜いておきましょう。



第4章 自動伴奏を使って弾いてみよう

詳しい説明は…取扱説明書「本編」P.36～P.56



自動伴奏とは、鍵盤でコード(和音)を指定するだけで選んだスタイルの伴奏を自動演奏する機能です。簡単な演奏方法でかっこいい伴奏付きの演奏が楽しめます。自動伴奏のコード指定方法は4種類あります。そのうちの3種類を体験してみましょう。

自動伴奏の音量は【ACMP/SONG VOLUME(自動伴奏/ソングボリューム)】で調節します。

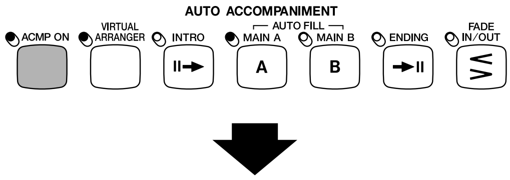
シングルフィンガーで弾く「チョップスティックス」

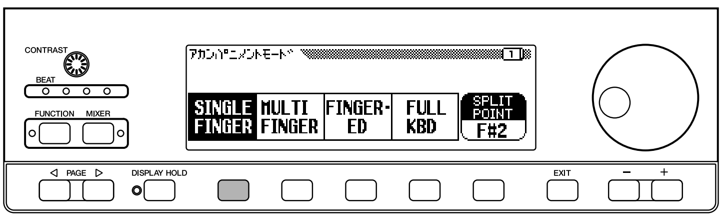
ここではいちばん簡単なコード指定方法"シングルフィンガー"で、自動伴奏とはどういうものかを体験します。"シングルフィンガー"の奏法には簡単な鍵盤の押さえ方のルールがありますが、ここでは説明を省略しますので詳しくは「本編」のP.45をご覧ください。

1.シングルフィンガー奏法を体験しよう

次の図にように自動伴奏のセットができたら、"**この曲で使うコードとその押さえ方**"のとおりに鍵盤を押さえ、シングルフィンガーの奏法を体験してみましょう。

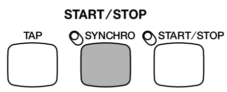
【ACMP ON(自動伴奏オン)】[SINGLE FINGER]





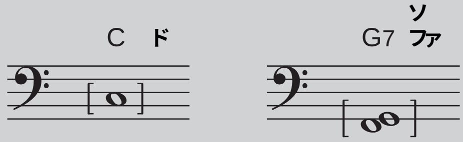
⇒

【SYNCHRO(スタート待機)】OFF



この曲で使うコードとその押さえ方

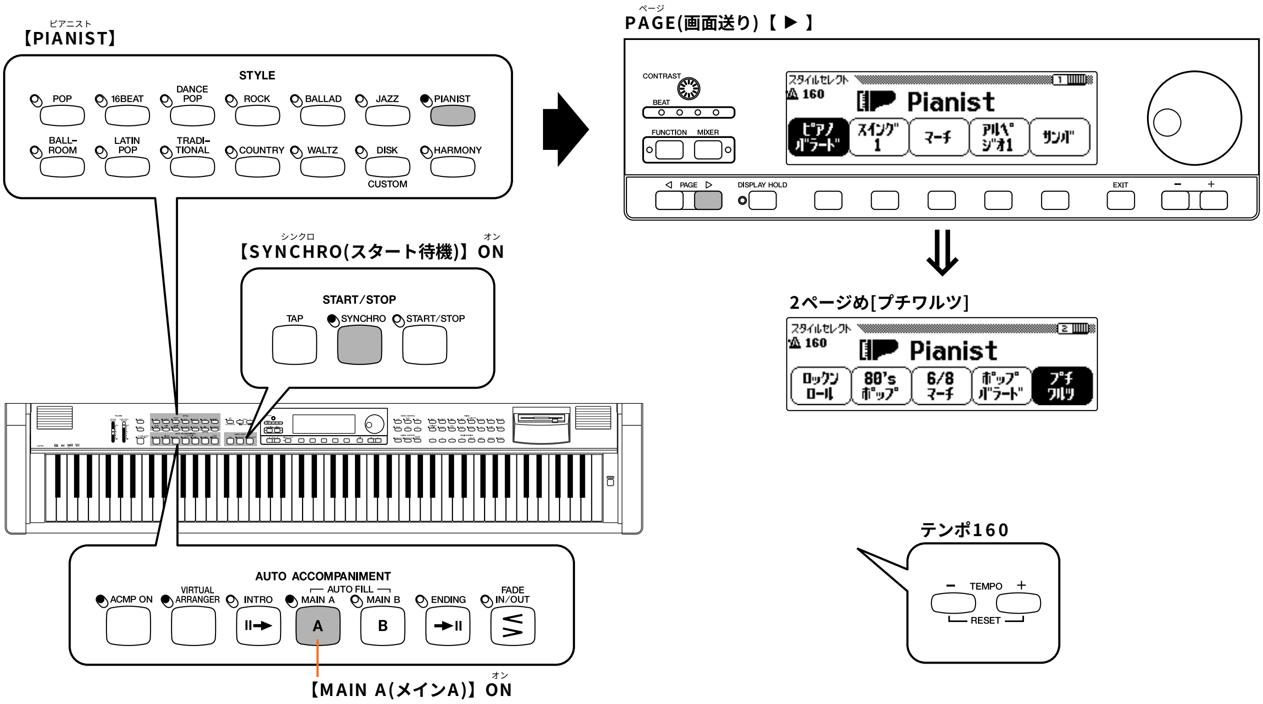
「チョップスティックス」コードの押さえ方

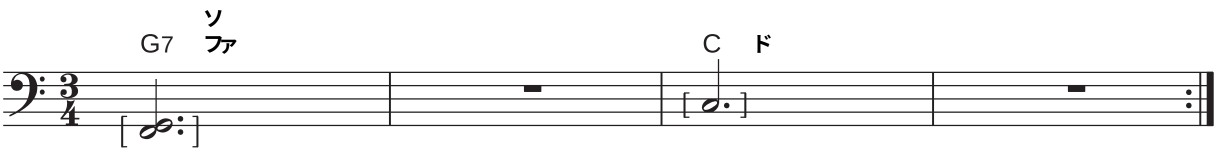


2.伴奏を練習しよう

1.の設定に加えてさらに次の図にように伴奏スタイルのセットができたら、シングルフィンガーで弾く自動伴奏を少し体験してみましょう。ここでは、ピアノの音色だけでできた"ピアニスト"の伴奏スタイルから[プチワルツ]を選びます。

今度は【SYNCHRO(スタート待機)】をONにしてリズムにあわせて弾きますので、弾き終わったら【START/STOP(スタート/ストップ)】を押してストップします。

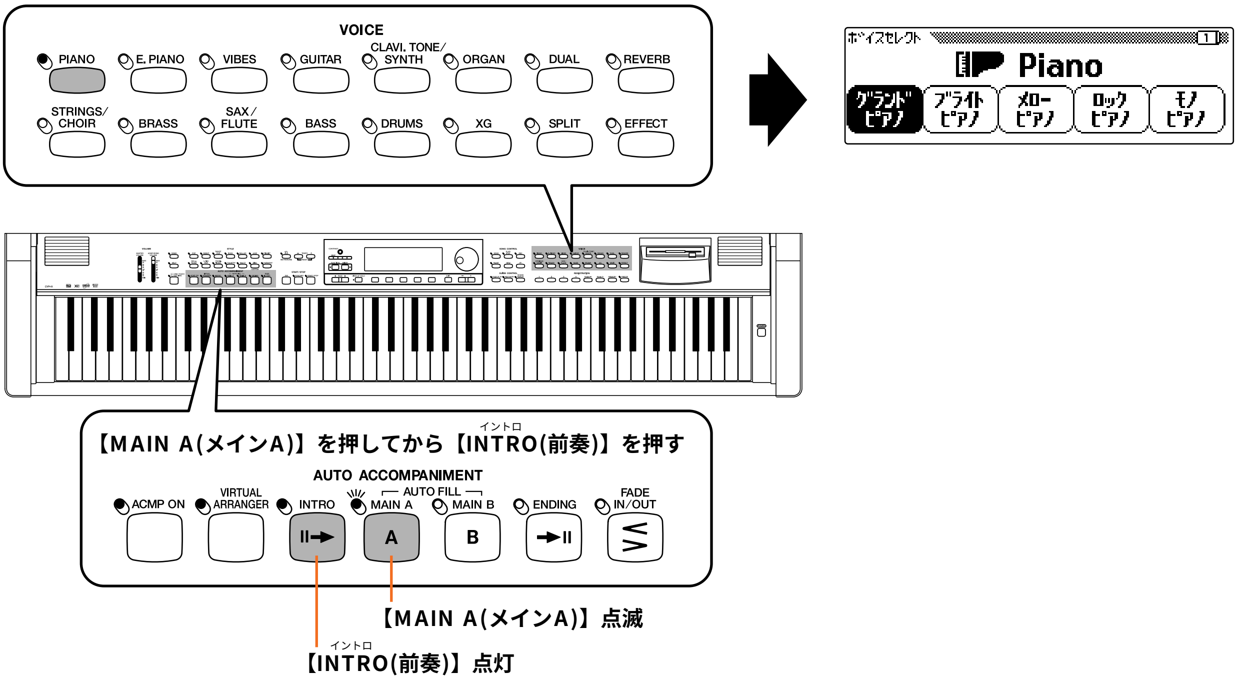




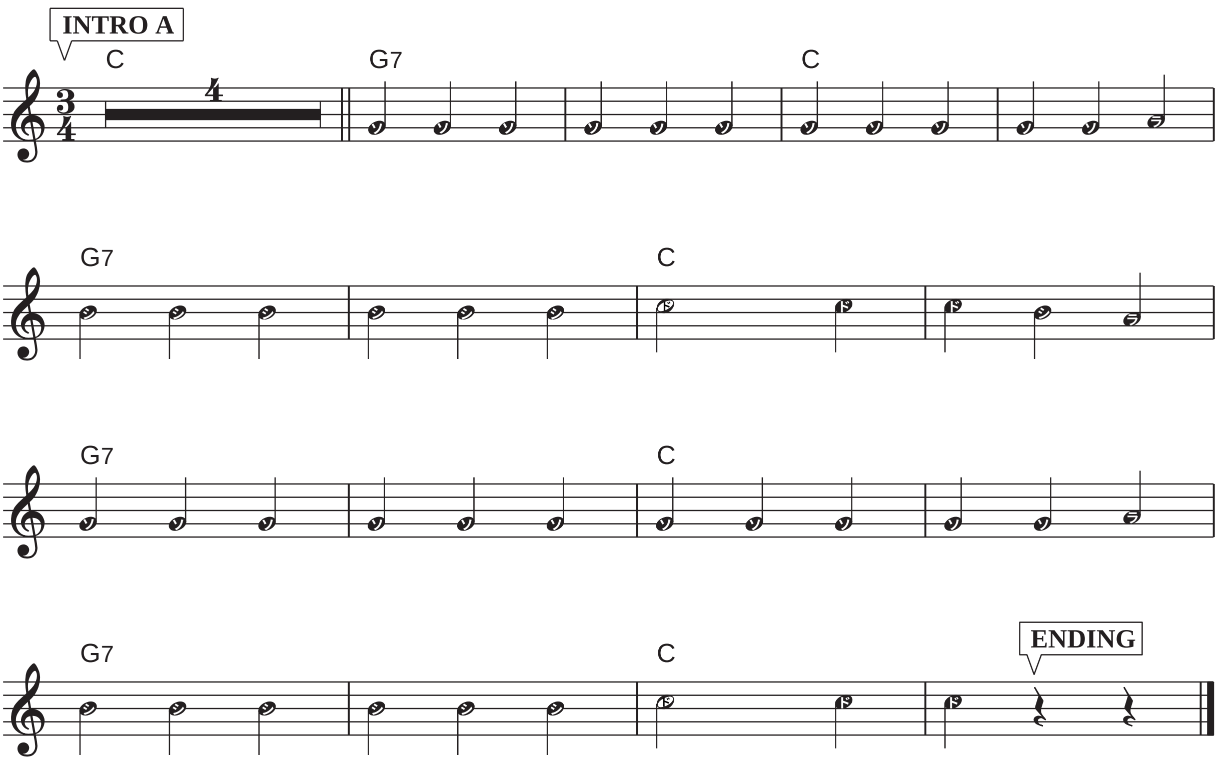
3.メロディにあわせて弾いてみよう

2.の設定に加えてさらに次の図にようにセットができたら、メロディもいっしょに弾いてみましょう。楽譜の[ENDING]と書いてあるところで【ENDING(後奏)】を押してください。

【PIANO(ピアノ)】[グランドピアノ]



チョップスティックス

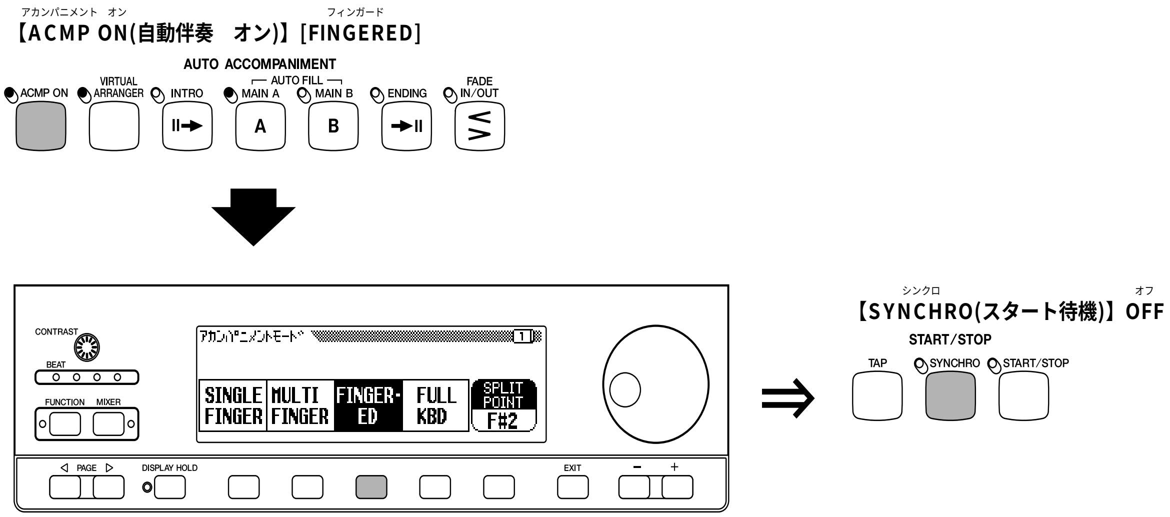


フィンガードで弾く「IF WE HOLD ON TOGETHER」
（ルビ：イフ ウィ ホールド オン トゥゲザー）

次は"フィンガード"の奏法を体験します。"フィンガード"には特別な鍵盤の押さえ方のルールはありません。コードネームを見て鍵盤の押さえ方のわかる方は、自由なポジションで弾いてください。(ただし、鍵盤ガイドランプが点灯している鍵盤から左の領域で弾いてください。)参考までに、鍵盤の押さえ方の例を"この曲で使うコードとその押さえ方"で紹介します。

1.フィンガード奏法を体験しよう

次の図にように自動伴奏のセットができたら、"**この曲で使うコードとその押さえ方**"のとおりに鍵盤を押さえ、フィンガードの奏法を体験してみましょう。



この曲で使うコードとその押さえ方

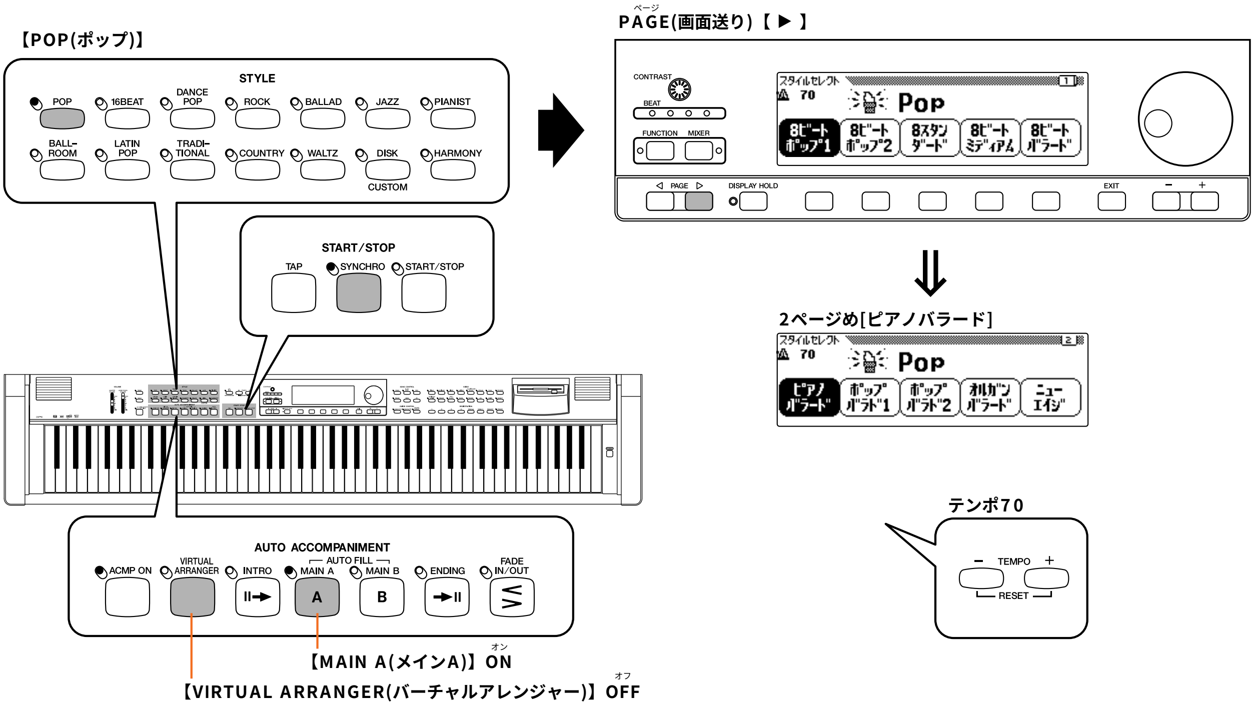
「IF WE HOLD ON TOGETHER」コードの押さえ方
（ルビ：イフ ウィ ホールド オン トゥゲザー）

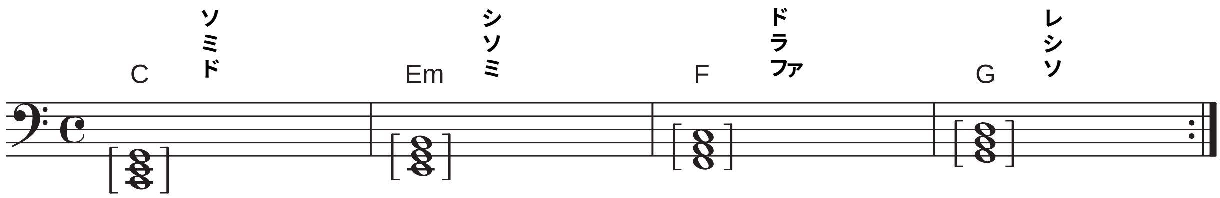
指使いはほとんど左手の5、3、1、です。



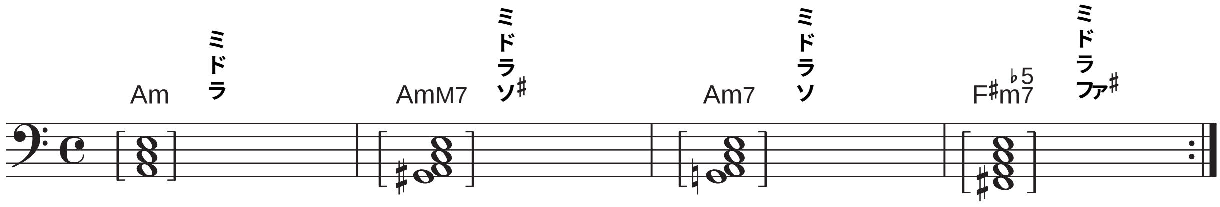
2.伴奏を練習しよう

1.の設定に加えてさらに次の図にように伴奏スタイルのセットができたら、伴奏を練習しましょう。今度は【SYNCHRO(スタート待機)】をONにしてリズムにあわせて弾きますので、弾き終わったら【START/STOP(スタート/ストップ)】を押してストップします。



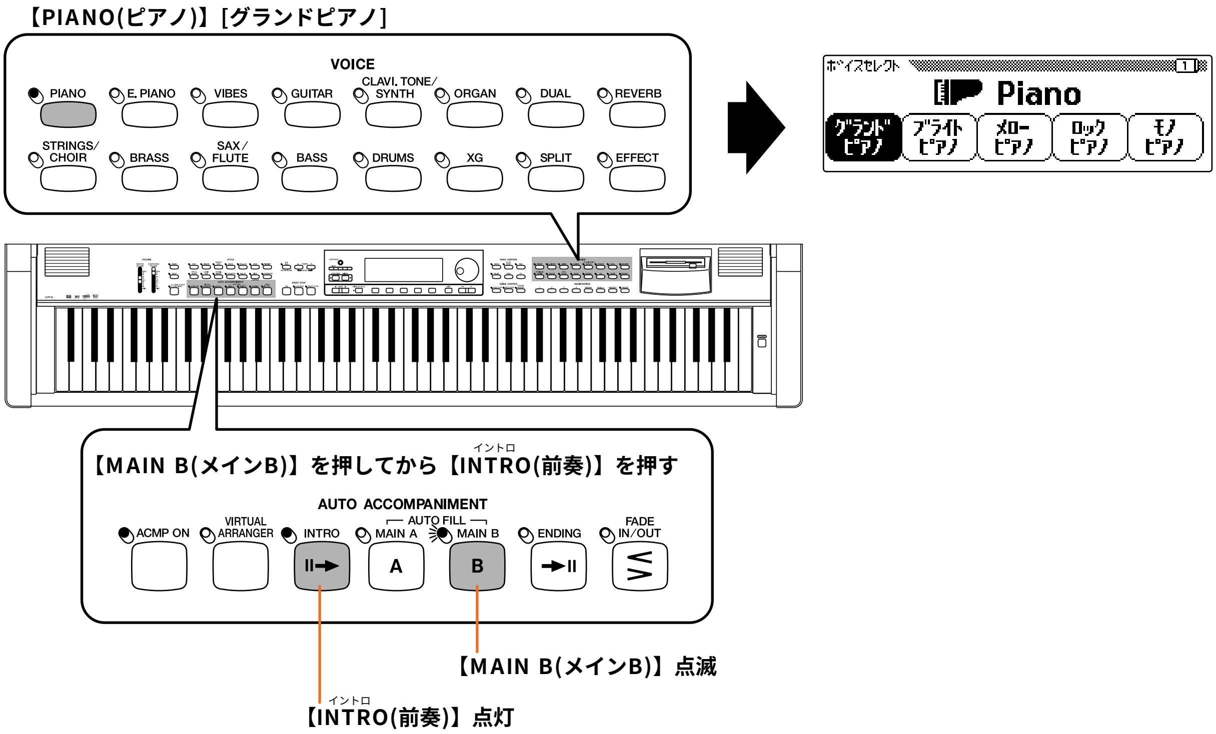






3.メロディにあわせて弾いてみよう

2.の設定に加えてさらに次の図にようにセットができたら、メロディもいっしょに弾いてみましょう。楽譜の[MAIN(メイン) A][MAIN(メイン) B][ENDING(エンディング)]と書いてあるところでそれぞれのボタンを押してください。

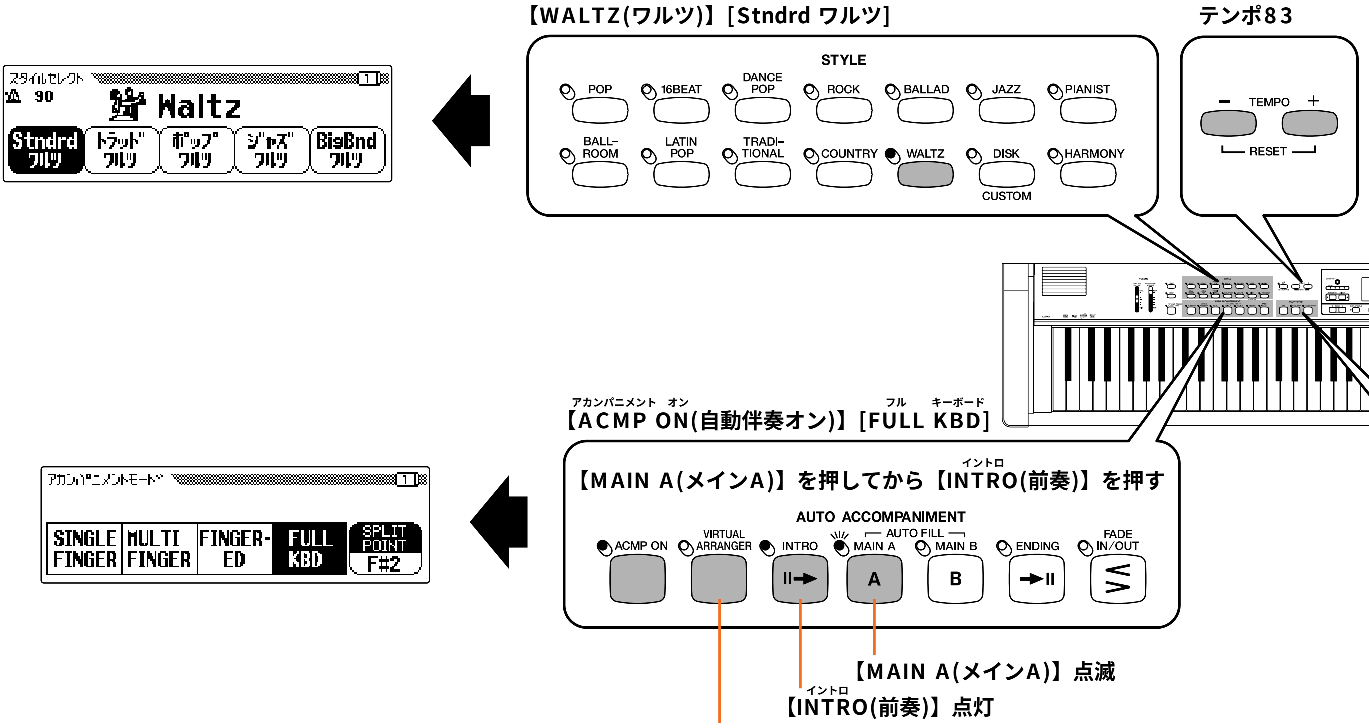


イフ　ウィ　ホールド　オン　トゥゲザー
IF WE HOLD ON TOGETHER



フルキーボードで弾く「TENDERLY」

"フルキーボード"の奏法を体験しましょう。"フルキーボード"は自動伴奏を特に意識しなくても、普通にピアノを弾くように演奏すると自動伴奏がつきます。次の図にようにセットができたら「TENDERLY」を弾いてみましょう。楽譜の[ENDING]と書いてあるところで【ENDING(後奏)】を押してください。

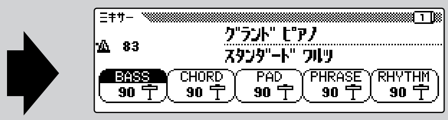


ワンポイント アドバイス

【MIXER(ミキサー)】機能を使うと自動伴奏のパートごとの音量を設定できます。

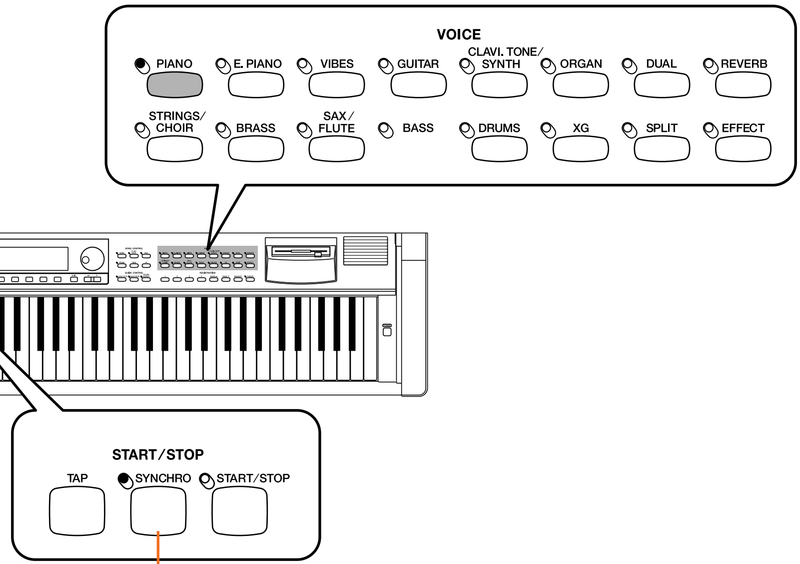
1. 【MIXER(ミキサー)】を押す

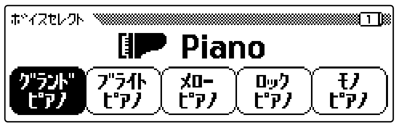




この画面が出ていないときは、PAGE(画面送り)【◀】で1ページめを出します。

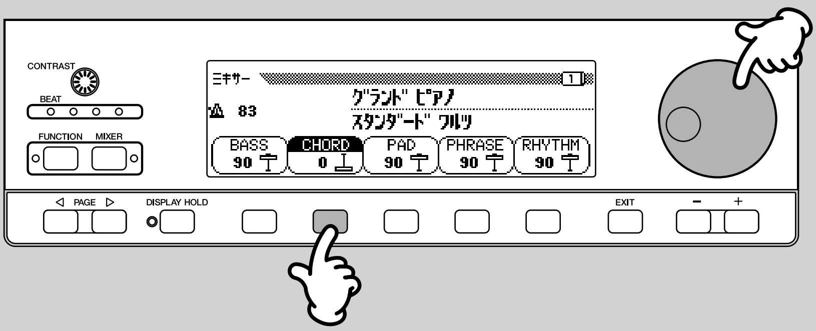
【PIANO(ピアノ)】[グランドピアノ]





【SYNCHRO(スタート待機)】ON

2. [CHORD]を押して【ダイアル】で数値を0(ゼロ)にする



テンダリー
TENDERLY



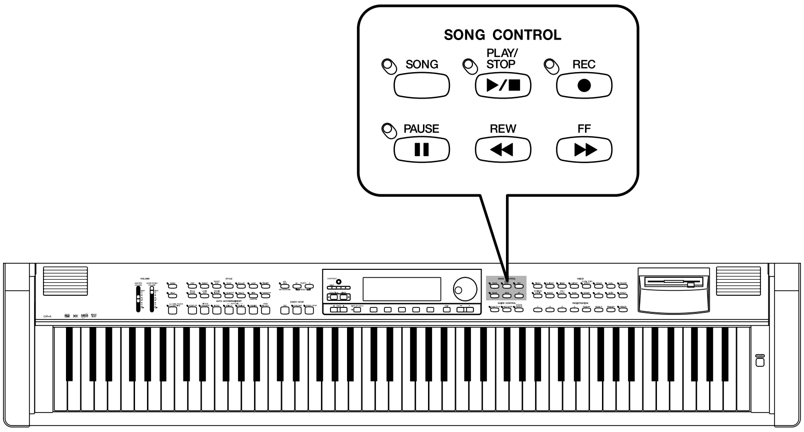


自動伴奏でレパートリーを増やしましょう

付属の「ミュージックソフト・コレクション」のディスクの中には、自動伴奏用の伴奏スタイルや音色の設定がワンタッチでできる、「ワンタッチセッティング」のファイルが入っています。簡単な設定で数多くの曲の演奏をお楽しみいただけます。ワンタッチセッティングの操作について詳しくは「本編」のP.52をご覧ください。

第5章 録音してみよう

詳しい説明は...取扱説明書「本編」P.89〜P.102



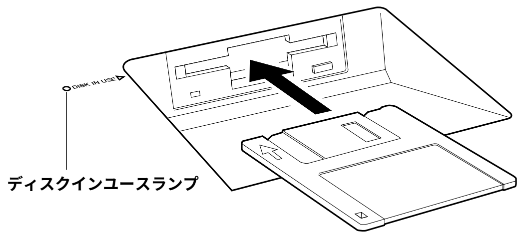
録音方法には、右手、左手、伴奏の3パートに分けて録音する"クイック録音"と、16トラックに分けて多重録音できる"トラック録音"、自動伴奏をステップ入力する"コードシーケンス"の3種類の方法があります。ここでは"クイック録音"と"コードシーケンス"を体験してみましょう。

録音するディスクを準備する

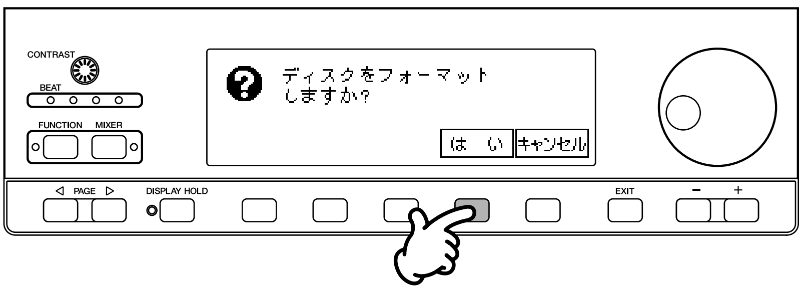
録音には録音用のディスクが必要です。録音する前にディスクのフォーマットをしておきます。

1. 付属の録音用ディスクをディスク挿入口に差し込む

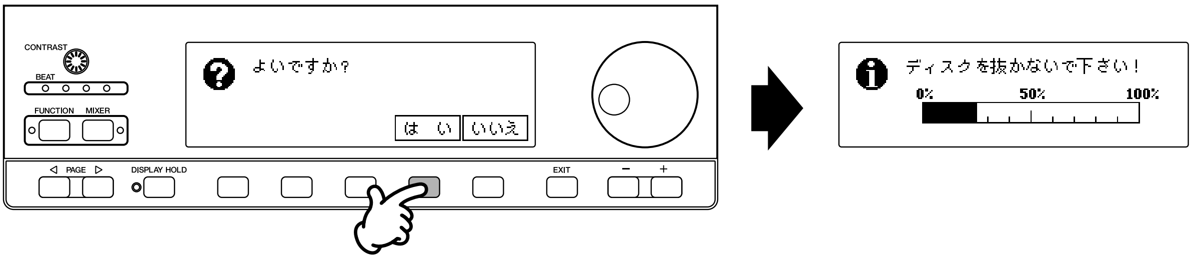
図のように正しい向きと方向でカチッと音がするまでていねいに差し込みます。



2. メッセージが出たら[はい]を押す



3. 次のメッセージが出たら[はい]を押す



➧元のLCD画面にもどれば完了です。

ワンポイントアドバイス

一度使用したディスクを再フォーマットする場合は、ファンクションのディスクフォーマット機能(本編P.113)を使います。

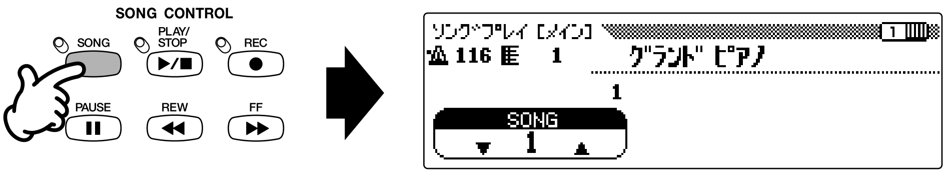
クイック録音してみよう

P.17の「チョップスティックス」をクイック録音してみましょう。まず自動伴奏を録音して、そのあとにメロディを録音します。

1. フォーマット済みのディスクを入れる

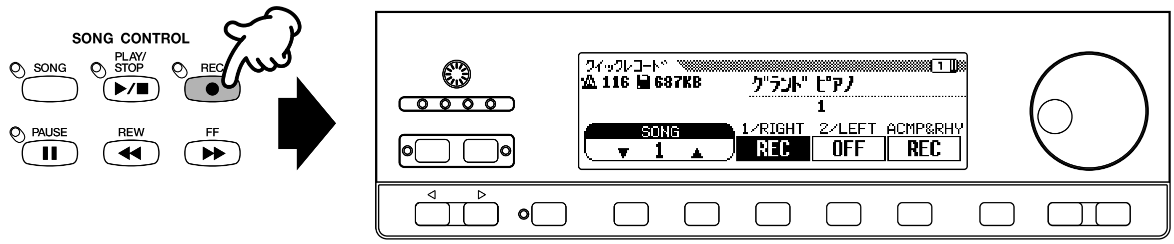
2. 【SONG(ソング)】を押す

➧ランプが点灯してソングプレイ[メイン]画面が出ます。自動的にSONG(ソング)1が選ばれています。



3. 【REC(録音)】を押す
(REC: レコード)

➧クイックレコード画面が出ます。



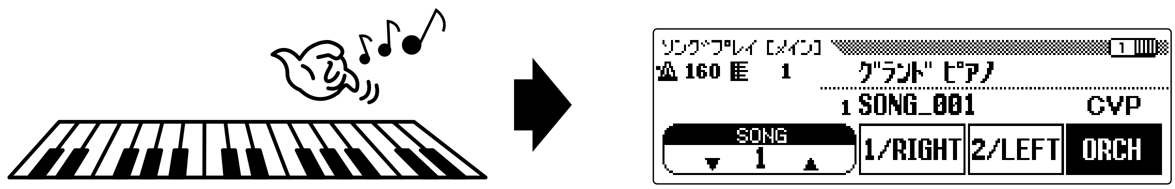
この画面が出ない場合は、PAGE(画面送り)【◀ 】を押して1ページめを出してください。
(PAGE: ページ)

4. P.17〜19の「チョップスティックス」のパネル設定をする

*【SYNCHRO(スタート待機)】はON。
(SYNCHRO: シンクロ)

5. 自動伴奏を弾いて伴奏パートを録音する

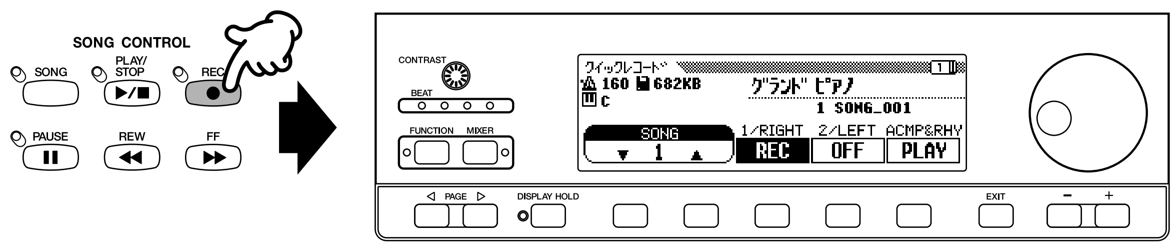
【ENDING(後奏)】を押すと自動的に録音も終了します。
(ENDING: エンディング)



伴奏パートの録音ができました。

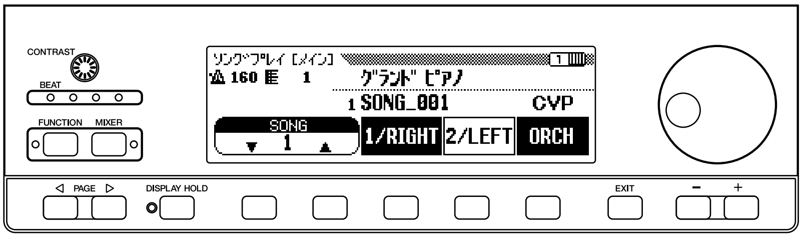
6. 【REC(録音)】を押す
(REC: レコード)

➧自動的に[1/RIGHT]が[REC]になります。
(RIGHT: ライト、REC: レコード)



7. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押してメロディを弾く

➧弾き終わったら【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押します。



伴奏とメロディの両方が録音できました。

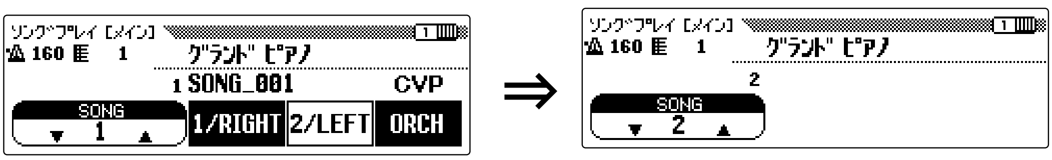
8. 【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押して再生する

コードシーケンスで録音してみよう

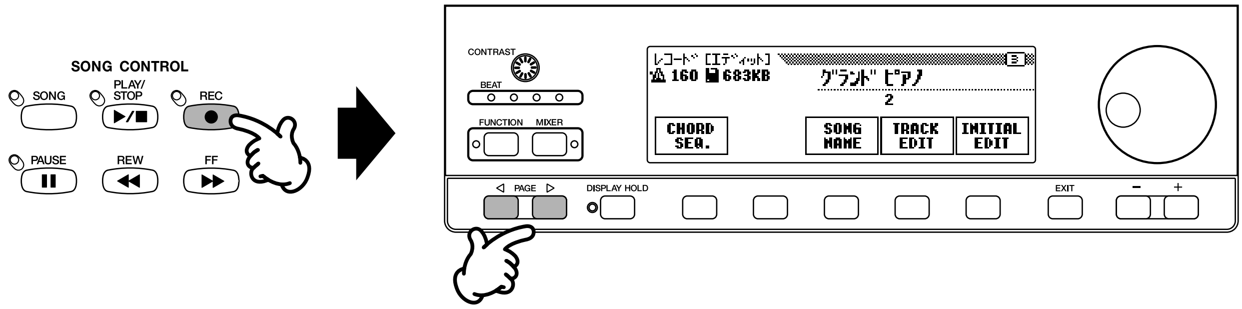
コードシーケンスで「チョップスティックス」を録音してみましょう。コードシーケンスを使うと自動伴奏をステップ入力できますので、一定のテンポで演奏しなくても伴奏パートを録音することができます。また、鍵盤を弾かなくてもLCD画面だけでの入力もできます。

1. 録音用ディスクを入れる

➧先ほどクイック録音した「チョップスティックス」がSONG1に入っていますので、[SONG]▲を押して[2]にします。

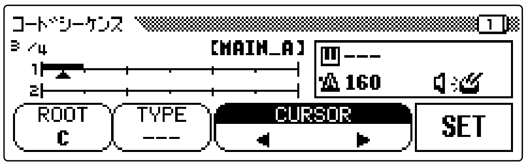


2. 【REC(録音)】を押して3ページを出す



3. [CHORD SEQ.]を押す

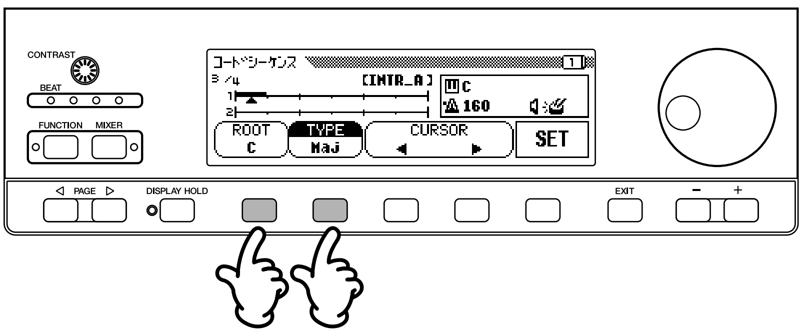
➧コードシーケンス画面が現れます。



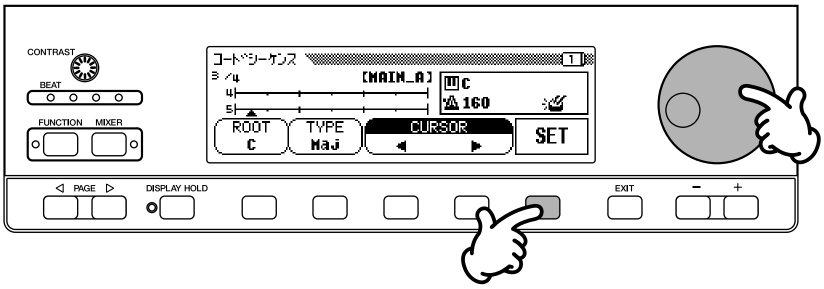
4. P.17〜19の「チョップスティックス」のパネル設定をする

* 【SYNCHRO(スタート待機)】はOFF。

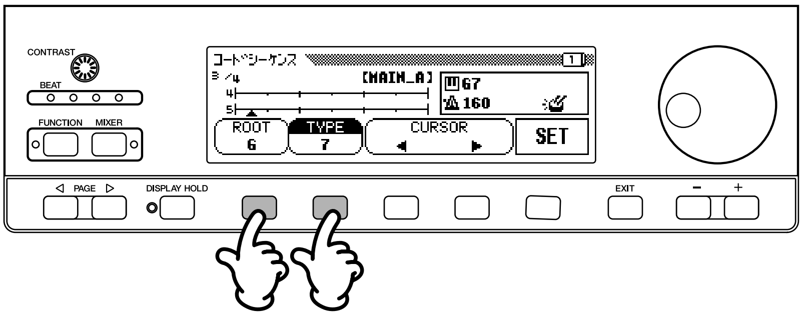
5. [ROOT]と[TYPE]を押して[C]と[Maj]にする



6. [SET]を押して【ダイアル】でカーソル(▲)を5小節めのはじめに移動する



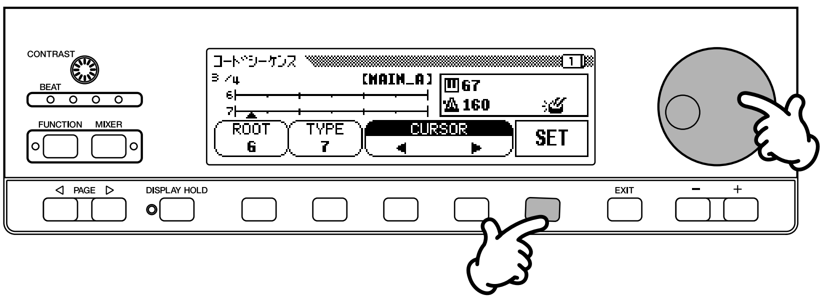
7. [ROOT]と[TYPE]を押して[G]と[7]にする



ワンポイント アドバイス

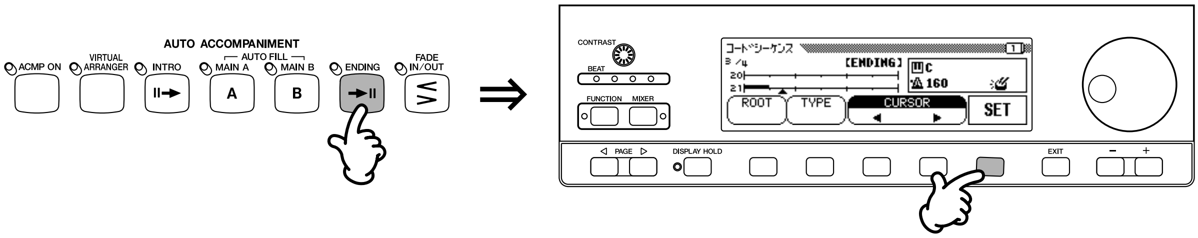
[ROOT]と[TYPE]を1度押したあと【ダイアル】を使うと、すばやく選べて便利です。

8. [SET]を押して【ダイアル】でカーソル(▲)を7小節めのはじめに移動する



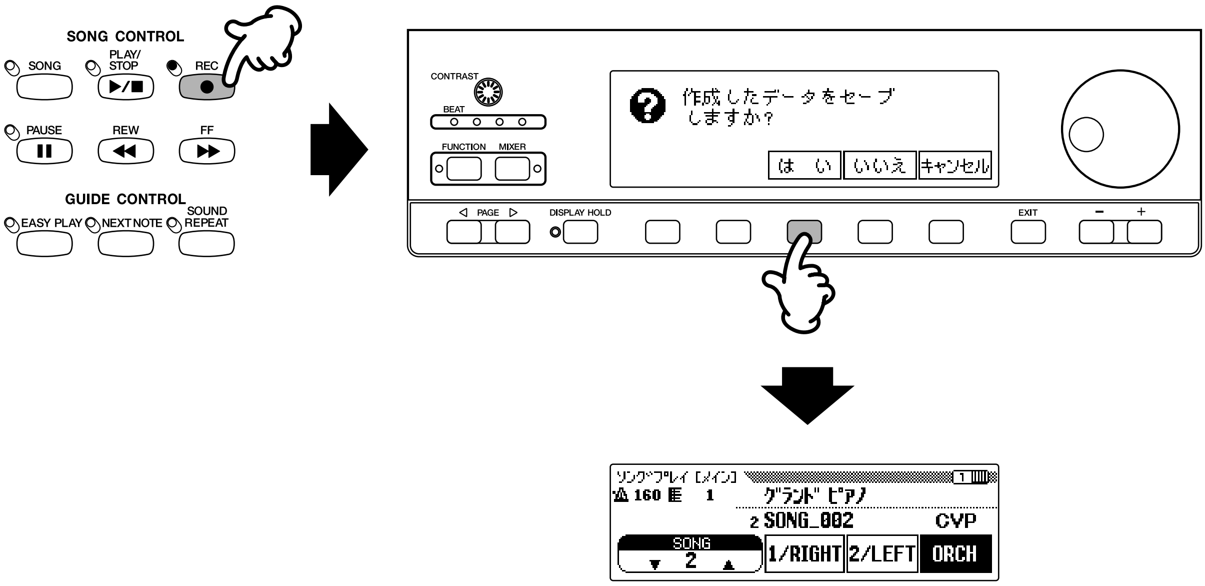
この作業を繰り返して、曲の最後までコードを入力します。

9. 21小節めのはじめで【ENDING(後奏)】を押して[SET]を押す



10.【REC(録音)】を押して[はい]を押す

➧保存の作業が終わると元のLCD画面に戻ります。



これで「チョップスティックス」の伴奏パートが録音できました。

11.【PLAY/STOP(プレイ/ストップ)】を押して再生する

Cコードの押さえ方一覧



ヤマハ株式会社

VV68410 703MWDN1.3-01A0